## 第1回 推進協議会における主な意見等

項目		意見・質問等	推進計画への反映	
河川下水道対策	河川 下水道 整備	水田が住宅地に開発されて流出量が増加して浸水被害が発生している。こうした対策として、県道下等に地下河川をつくってはどうか。(市町委員)	反映済	2-3 基本目標に、「ながす」については河川下水道対策を、また、雨水の流出を抑制することを目標として地域に応じた「ためる」流域対策を推進することを記載(済)
流域対策	校庭貯 留施設 ・ため池 につい て	ため池関連事業を実施しているが、その 事業の中で既に治水のための容量が確 保されているか確認したい。 (県民委員)	回答	基本的にはため池の改修であり容量 アップしているわけではない旨を委 員に回答
		総合治水推進計画は、目標期間が 10 年 と河川整備計画の 30 年と比較して短く なっている。よって、校庭貯留施設やた め池等の施設整備を推進し、短期間に治 水効果を発現する必要があると感じて いる。(会長)	反映済	2-3 基本目標に、河川下水道対策は本計画の計画期間で実施し得る整備を着実に進め、さらに流域対策を推進することを記載(済)
		神河町としては、森林を保全するため、 独自の事業で間伐を行う予定である。 (市町委員)	修文	5-6 森林の整備及び保全に、 <u>神河町独</u> 自事業による間伐に関する内容を追 <u>記</u>
	流木 対策に ついて	計画の中に、砂防堰堤等に関して記載してもらいたい。(市町委員)	修文	5-7 山地防災・土砂災害対策として新たに項目を作成して、 <u>砂防に関する内容を追記</u>
減災対策	防災 情報の 提供 方法	インターネットによる情報を見られない高齢者にとっては、インターネット以外の情報提供方法を考える必要がある。 (県民委員)	反映済	6-3 浸水による被害の発生に係る情報の伝達に、防災無線や広報車等を利用した情報発信や水位情報等のデータ放送を活用した発信を記載(済)
		神河町では、2年前の災害を契機として、CATVを活用した情報提供に取り組んでいる。今年度から水防本部が設置されて以降の雨量・水位観測情報をCATVで流す取り組みを行っている。 (市町委員)	修文	6-3 浸水による被害の発生に係る情報の伝達に、神河町によるケーブルテレビによる雨量・水位観測情報の提供 状況を追記
総合治水 を推進す るにあた って必要 な事項	モデル 地区	次回の会議では、できればどこか先導的なモデル事例を提示していただければと提案する。先導的なモデルがうまくいけば、取組みはどんどん広がっていくと考える。(会長)	修文	8-5 モデル地区でとして新たに項目 を作成して、 <u>先導モデル地区に関して</u> <u>追記</u>
その他		道路では、「銀の馬車道」があるが、例えば「銀の川」のように総合治水を推進する上で、ソフト面の工夫をしてもらえばありがたい。 (市町委員)市川の河川整備計画等でキャッチフレーズを検討したことがある。(会長)	_	キャッチフレーズを検討し、推進計画 のサブタイトル等として活用する。

## 第2回ワーキングでの主な意見等

項目		意見・質問等	推進計画への反映	
河川下水 道対策	河川 下水道 整備	河川整備計画に基づくもの以外にも、緊急対策や局地的な対策も実施することを記載いただきたい。 (福崎町 構成員 上流域ワーキング)		2-3 基本目標に、 <u>緊急的な対策や修繕</u> 工事を適宜実施することを追記
流域対策	留施設 ・ため池 につい	推進計画 P76 のため池での取り組みについて、福崎町は空欄となっているが、3ヶ所での検討を行っており、その取り組みを追記したい。 (福崎町 構成員 上流域ワーキング)		5-2(3) ため池での雨水貯留に関する取り組み一覧に、福崎町においてため 池を活用した雨水貯留機能の確保を 検討していることを追記
総を指にて事でである。	モデル地区	船場川上流地区の対象地域内の意見交換の下には、水害に対する意見を進める。 「県民 構成 では	修文	8-5 モデル地区でとして新たに項目 を作成して、 <u>先導モデル地区に関して</u> <u>追記</u>